

宮ヶ浜港防波堤（捍海堤）の文化財にかかる災害復旧について



宮ヶ浜港について



島津斉興の築いた防波堤

松尾城跡下にある宮ヶ浜港では、雨風によりしばしば船が転覆する被害を受けていたため、天保5(1834)年に島津斉興(第10代薩摩藩主)が宮ヶ浜沖合に内金庫で延長7フ間(約140m)の防波堤を築かせました。明治年間に延長工事をしています。防波堤が築かれることにより、船が安全に停泊できるようになりました。指宿の豪商の濱崎太平次は、この港を拠点としながら全国の主要港に支店を設けて商業を営みました。築造の経緯については、市指定文化財「指宿邑捍海堤記碑」に刻まれています。

出典：かごしま文化財探訪（南薩地区）



2

被災施設の概況

【被災施設の概況】

種類	護岸
名 称	護岸(B-5-4)
構 造	石積工、傾斜式
延 長	75m
竣 工 年 度	不明(1834年)
管 理 者	鹿児島県

【被災施設の状況】

今回被災のあった宮ヶ浜港の護岸は、港内の由緒ある防波堤との均整を維持するため、石積構造の傾斜堤(1:1)により築造されたものであり、背後の緑地を保護するため設置されたものである。なお、護岸は国の登録有形文化財に指定されている港湾施設である。



3

宮ヶ浜港について



登録有形文化財登録証

平成20年4月18日 登録

登録番号第46-0066号

宮ヶ浜港防波堤（捍海隄）一基

石造、延長220m、石灯籠1基及び繩船柱5基付

上記の文化財を文化財保護法第57条第1項の規定により
文化財登録原簿に登録したことを証する。

平成20年5月7日

文部科学大臣

渡海 紀三朗



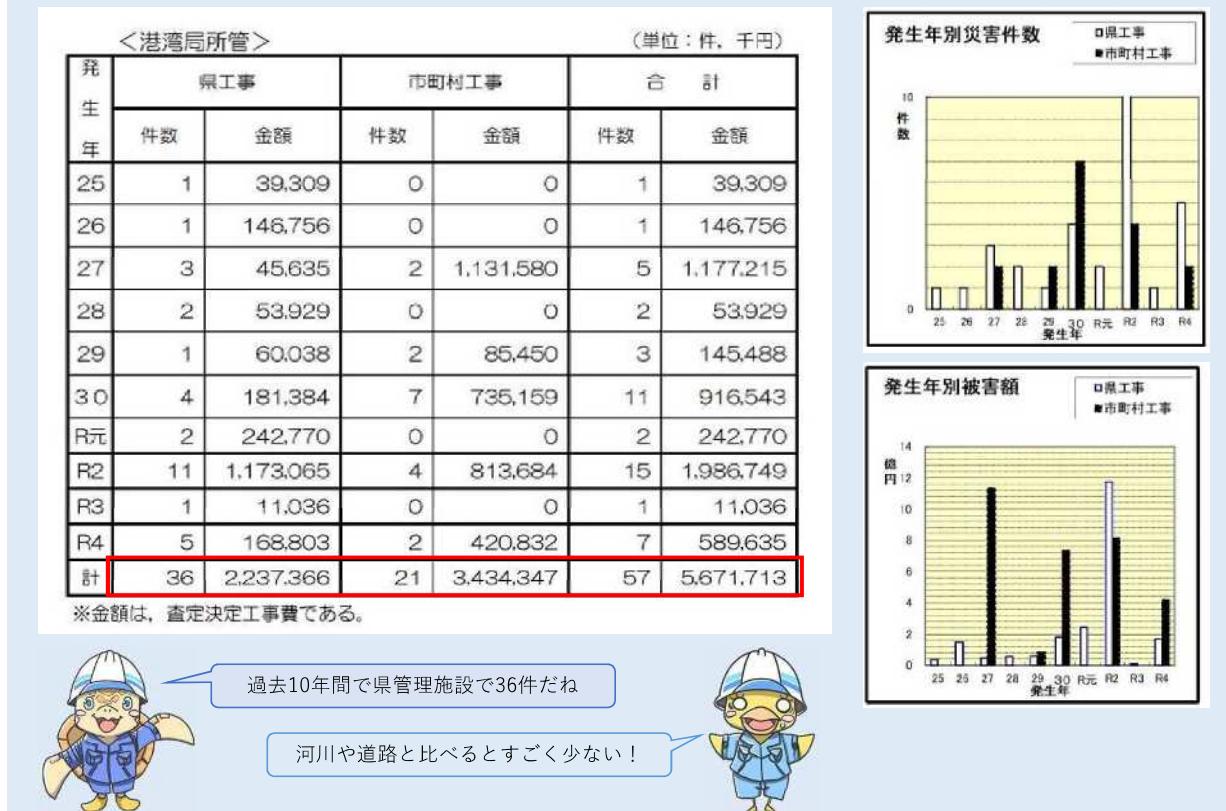
4

災害発生から災害復旧工事までの流れ



5

過去10年間における港湾関係災害発生状況(鹿児島県全域)



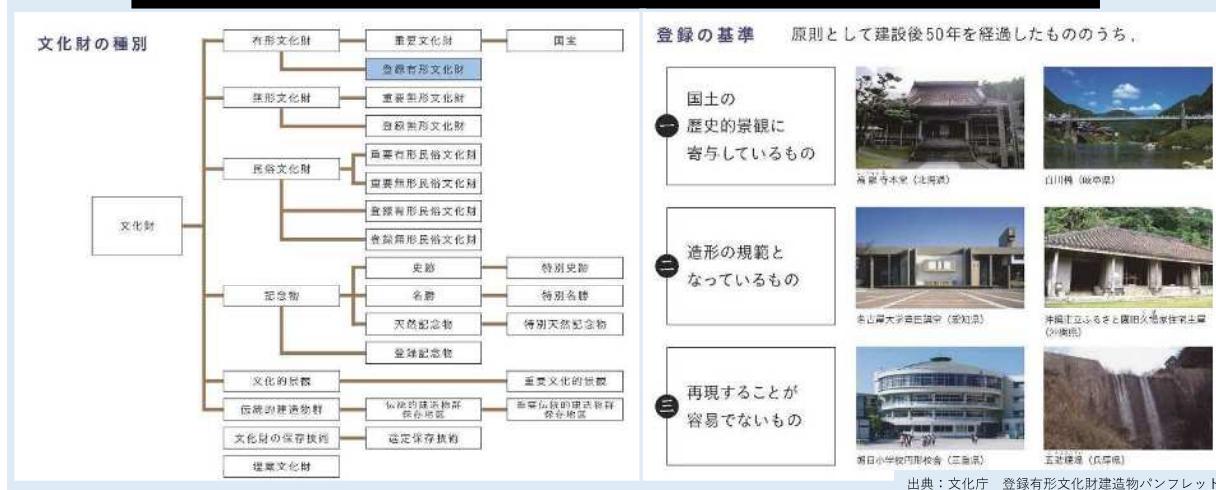
6

登録有形文化財とは

私たちの周りには、残していきたい風景がたくさんあります。身近な建造物であっても、地域に親しまれている建物や、時代の特色をよく表わしたもの、再び造ることができないものは、貴重な文化財です。この文化財建造物を守り、地域の資産として活かすための制度「文化財登録制度」が平成8年に誕生しました。

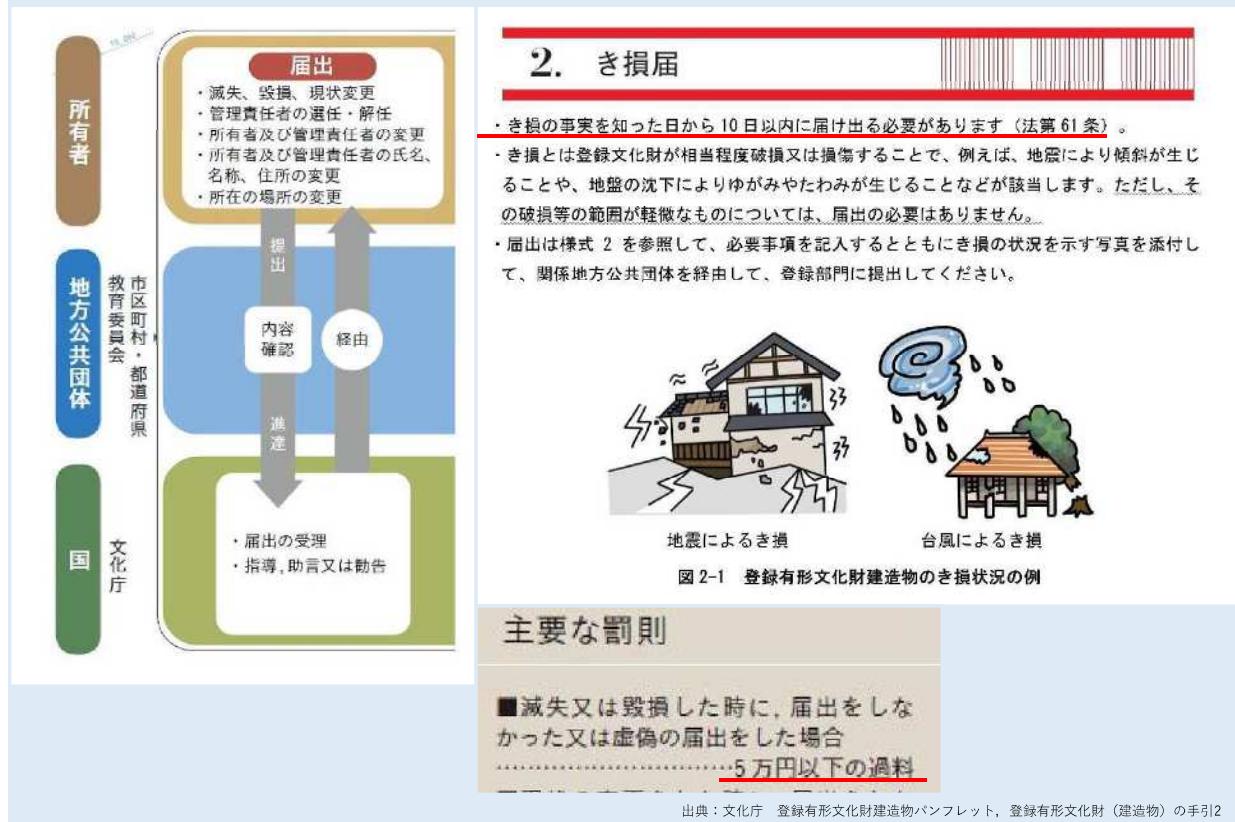
登録有形文化財建造物は、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制という緩やかな規制を通じて保存が図られ、活用が促されています。既に10,000件を超える建造物が登録されています。

これからも、この制度を利用して、多くの建造物が保存され、まちづくりや観光などに積極的に活用されることが期待されています。

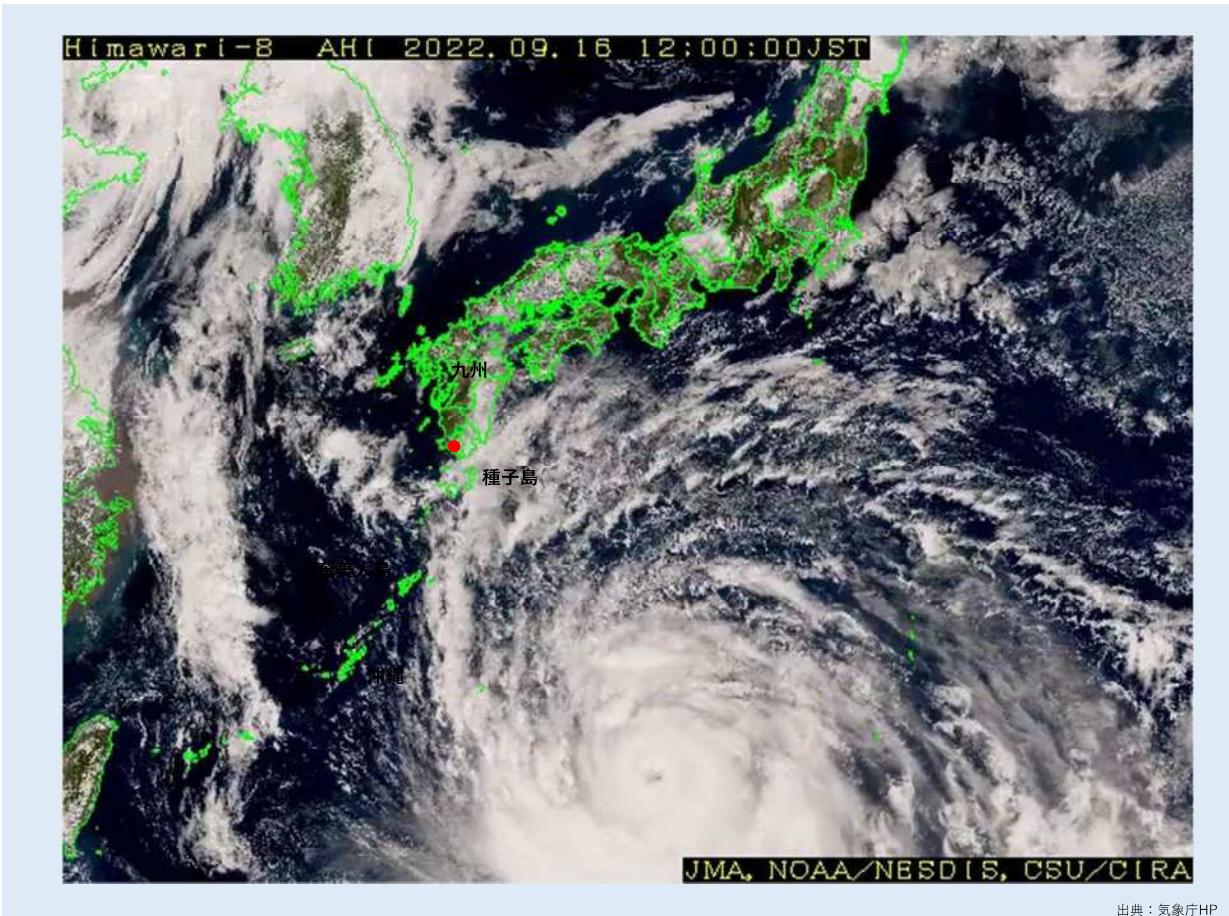


7

登録有形文化財とは



8



9

新聞記事

【新聞記事】

令和4年9月18日
南日本新聞



令和4年9月21日
読売新聞（インターネット記事）



令和4年9月19日
南日本新聞



10

被災時の気象（異常気象：台風2214号）概況

気象観測地点：枕崎

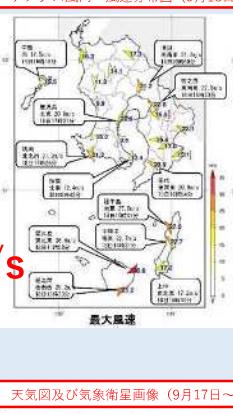


出典：国土交通省 気象庁

最大平均風速(10分単位)

時間	日付	時刻	風速(m/s)	風向	風速(m/s)	風向	風速(m/s)
12:00	09月17日	07:00	00 23.8	NE	00 17.5	NE	00 10.0
12:15	09月17日	07:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
12:30	09月17日	07:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
12:45	09月17日	07:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
13:00	09月17日	07:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
13:15	09月17日	07:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
13:30	09月17日	07:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
13:45	09月17日	07:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
14:00	09月17日	08:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
14:15	09月17日	08:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
14:30	09月17日	08:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
14:45	09月17日	08:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
15:00	09月17日	09:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
15:15	09月17日	09:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
15:30	09月17日	09:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
15:45	09月17日	09:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
16:00	09月17日	10:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
16:15	09月17日	10:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
16:30	09月17日	10:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
16:45	09月17日	10:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
17:00	09月17日	11:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
17:15	09月17日	11:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
17:30	09月17日	11:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
17:45	09月17日	11:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
18:00	09月17日	12:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
18:15	09月17日	12:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
18:30	09月17日	12:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
18:45	09月17日	12:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
19:00	09月17日	13:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
19:15	09月17日	13:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
19:30	09月17日	13:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
19:45	09月17日	13:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
20:00	09月17日	14:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
20:15	09月17日	14:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
20:30	09月17日	14:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
20:45	09月17日	14:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
21:00	09月17日	15:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
21:15	09月17日	15:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
21:30	09月17日	15:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
21:45	09月17日	15:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
22:00	09月17日	16:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
22:15	09月17日	16:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
22:30	09月17日	16:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
22:45	09月17日	16:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
23:00	09月17日	17:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
23:15	09月17日	17:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
23:30	09月17日	17:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
23:45	09月17日	17:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
24:00	09月17日	18:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
24:15	09月17日	18:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
24:30	09月17日	18:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
24:45	09月17日	18:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
25:00	09月17日	19:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
25:15	09月17日	19:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
25:30	09月17日	19:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
25:45	09月17日	19:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
26:00	09月17日	20:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
26:15	09月17日	20:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
26:30	09月17日	20:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
26:45	09月17日	20:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
27:00	09月17日	21:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
27:15	09月17日	21:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
27:30	09月17日	21:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
27:45	09月17日	21:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
28:00	09月17日	22:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
28:15	09月17日	22:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
28:30	09月17日	22:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
28:45	09月17日	22:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
29:00	09月17日	23:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
29:15	09月17日	23:15	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
29:30	09月17日	23:30	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
29:45	09月17日	23:45	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2
30:00	09月17日	24:00	00 25.9	NE	00 18.2	NE	00 11.2

アメダス風向・風速分布図（9月18日）

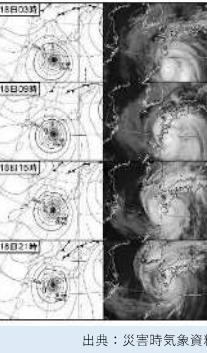
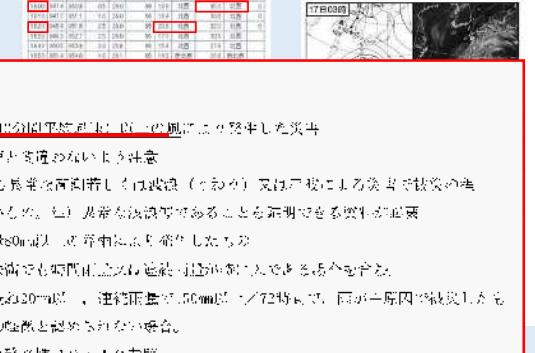


天気図及び気象衛星画像（9月17日～18日 6時間毎）



出典：災害時気象資料

最大平均風速(10分単位)



出典：災害時気象資料

被災時の気象（異常気象：台風2214号）概況

【被災時の潮位】

潮位データは、近隣の枕崎港の気象庁観測データを使用した。下図に示すように、枕崎9月18日の観測潮位である。

- ・潮 時：17時57分（満潮）
- ・潮 高：T.P.+136cm

被災時の潮位は、枕崎港検潮所の潮位データ（表.2 観測結果）から、T.P.+1.36m=D.L.+2.96mであった。
($T.P \pm 0.00 = D.L. + 1.60m$)

被災時の潮位は、朔昇平均満潮面（H.W.L +2.90m）より0.06m高く、潮位偏差（天文潮による予測潮位と、実測潮位の差）も最大+0.86mとなった（表.3、図.1参照）。

【検潮所（気象庁）】



出典：国土交通省 気象庁

毎時潮位 枕崎 天文潮
2022年9月17日～2022年9月19日の潮位予測 表.1 枕崎検潮所における9月17～19日の毎時潮位（T.P.表記：天文潮）

日	時刻																							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
17	80	53	22	-6	-26	-35	-30	-13	13	41	62	75	76	69	48	46	37	34	38	49	64	78	87	87
18	79	62	41	18	-2	-16	-22	-18	-5	13	33	49	59	64	64	60	56	57	51	57	63	69	72	72
19	71	65	54	41	24	9	-5	-13	-13	-7	5	20	36	50	61	68	70	69	65	60	55	53	52	54

毎時潮位 2022年9月 枕崎 表.2 枕崎検潮所における9月17～19日の毎時潮位（T.P.表記：天文潮）

日	時刻																							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
17	104	77	47	21	3	-4	1	18	42	68	89	101	102	95	85	75	70	71	78	89	104	119	129	131
18	124	109	88	67	49	37	33	38	50	69	89	108	120	127	129	131	133	138	136	135	132	131	131	131
19	126	116	102	86	68	51	35	24	20	23	33	46	59	71	79	83	85	85	84	81	76	72	70	71

毎時潮位偏差 2022年9月 枕崎 表.3 枕崎検潮所における9月17～19日の毎時潮位偏差（T.P.表記）

日	時刻																							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
17	24	24	25	27	29	31	31	31	29	27	27	26	26	26	27	25	33	37	40	40	40	41	42	44
18	45	47	47	49	51	53	55	56	55	56	56	59	61	63	65	71	77	82	86	83	75	68	62	59
19	55	51	48	45	44	42	40	37	33	30	28	26	23	21	18	19	19	16	19	21	21	19	18	17

出典：国土交通省 気象庁



出典：国土交通省 気象庁

図.1 枕崎検潮所における9月の毎時潮位偏差グラフ（速報値）

被災時の海象概況

【異常気象の概況】

気象庁発表によると台風14号は、令和4年9月14日3時に北緯22度24分、東経140度6分で発生した。

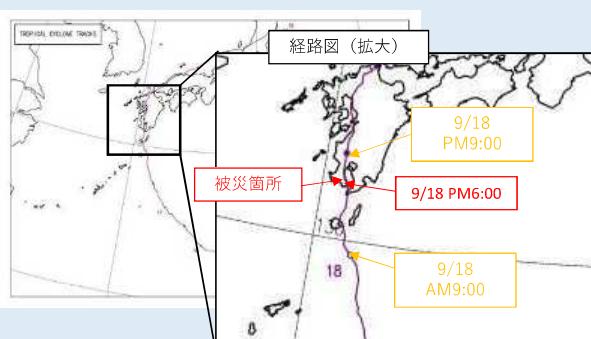
その後発達しながら北上、西日本・東日本の太平洋側、奄美地方、沖縄県に大荒れの天気をもたらし、9月20日9時に岩手県沖（北緯39度、東経143度）で温帯低気圧となった。

被災した宮ヶ浜港は台風進路上に位置し、台風の中心は9月18日18時頃に最接近し、鹿児島県本土を通過した。

（沖波諸元）

発生日時	波高 H _{1/3} (m)	周期 T _{1/3} (s)	波向 D _{1/3} (°)
2022年9月18日 16時	2.03	4.2	73.6

【台風経路図】



【波浪状況】

日本気象協会の台風14号の沖波観測データを用いて波浪推算を行った。

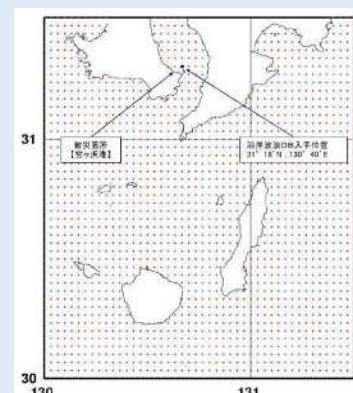
この沖波を用い、エネルギー平衡方程式で推算を行い換算沖波の算定を行った。

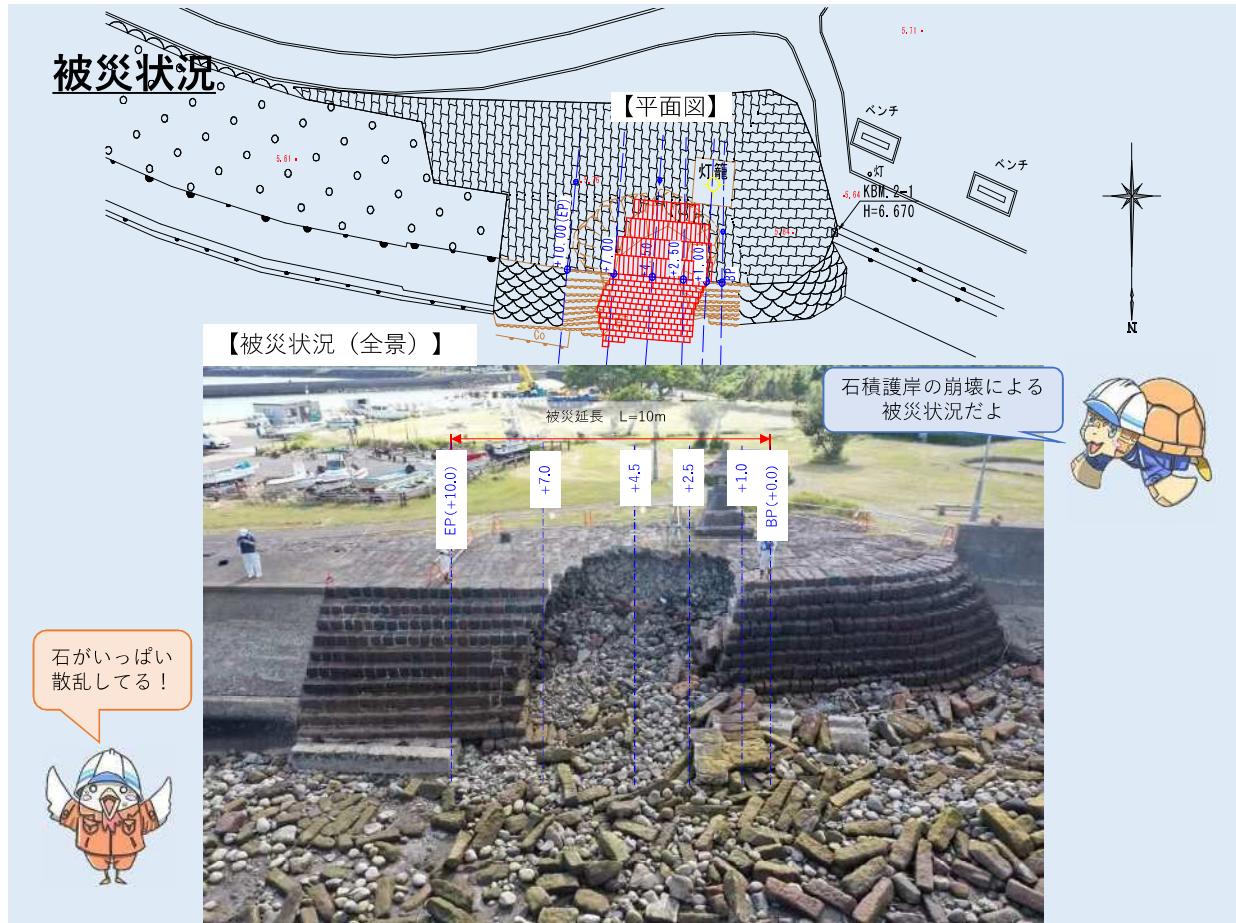
次に、換算沖波波高を用い、護岸の被災設計波の算定を行った。

計算の結果、被災波浪H_{1/3}=1.2mとなった。

【被災波浪】

ENE方向 = 1.71m
護岸前面被災波浪H_{1/3} = 1.2m
T_{1/3} = 4.2sec



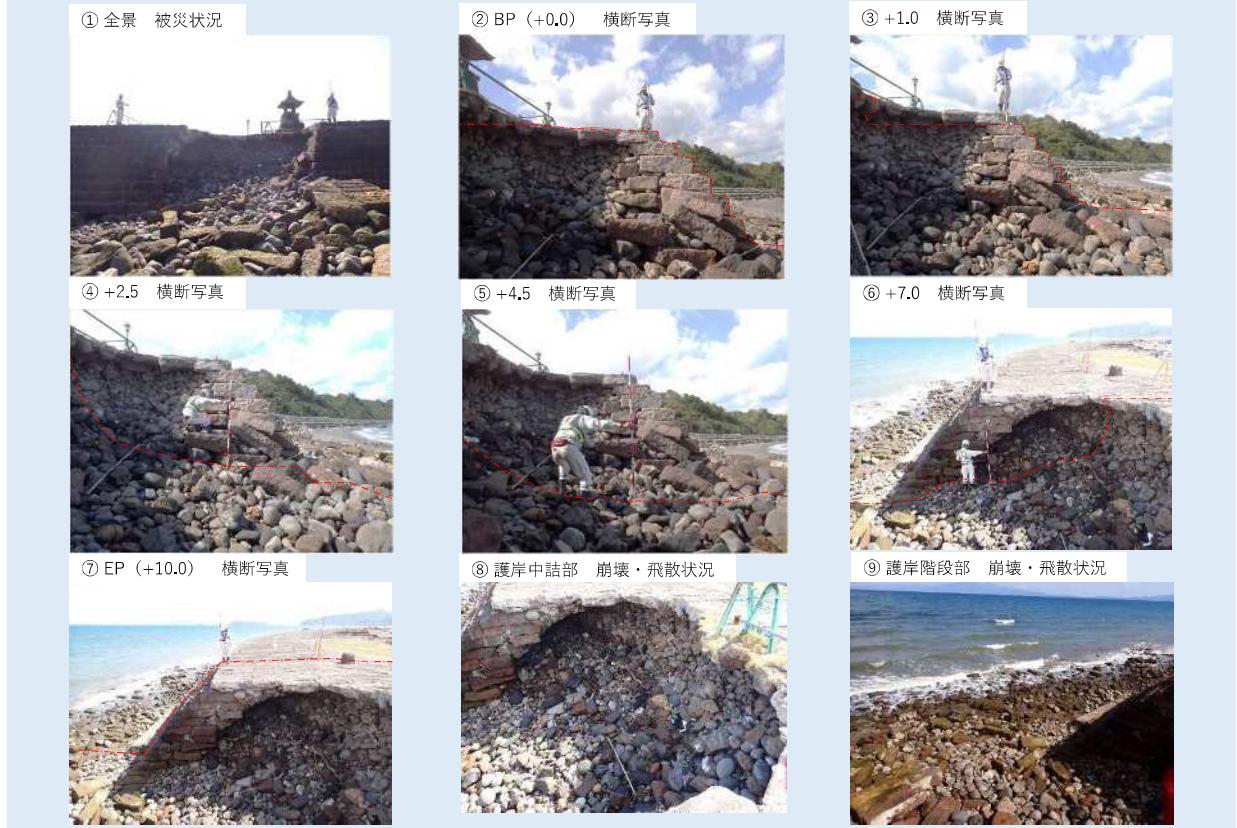


14



15

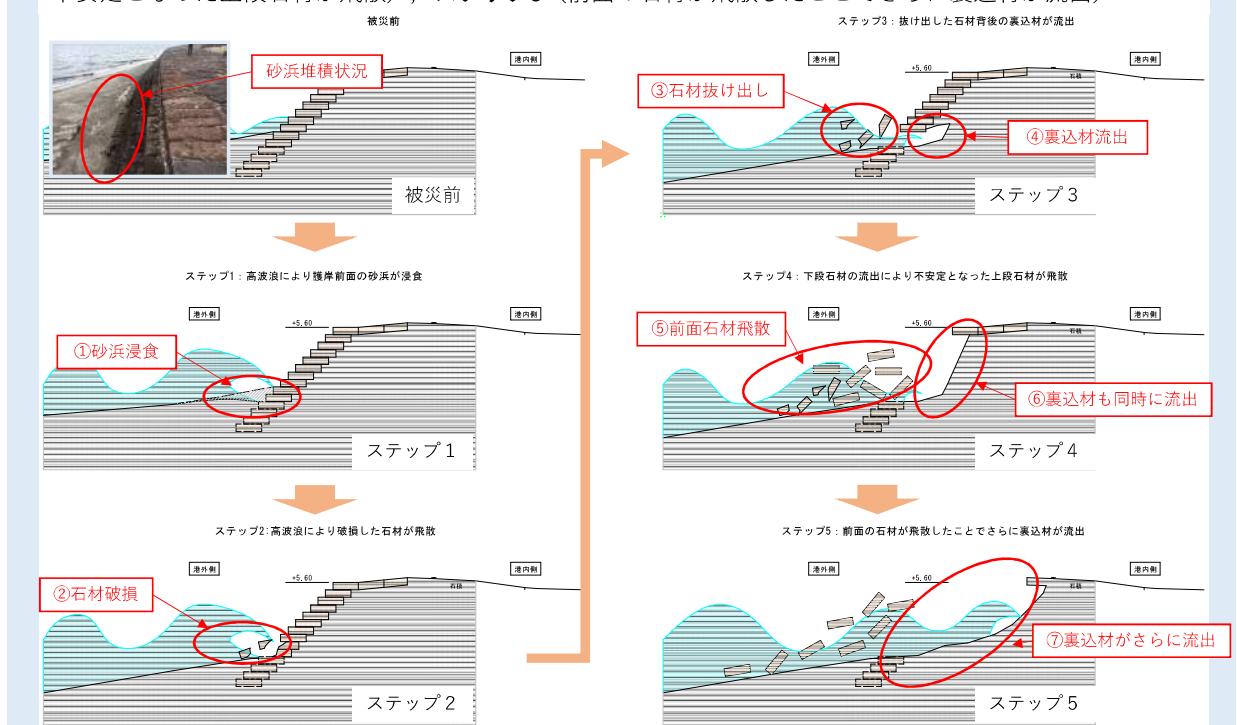
被災状況



16

被災メカニズム

被災メカニズムは、**ステップ1**（高波浪により護岸前面の砂浜が浸食），**ステップ2**（高波浪により石材が破損・飛散），**ステップ3**（抜け出した石材背後の裏込材が流出），**ステップ4**（下段石材の流出により不安定となった上段石材が飛散），**ステップ5**（前面の石材が飛散したことでさらに裏込材が流出）



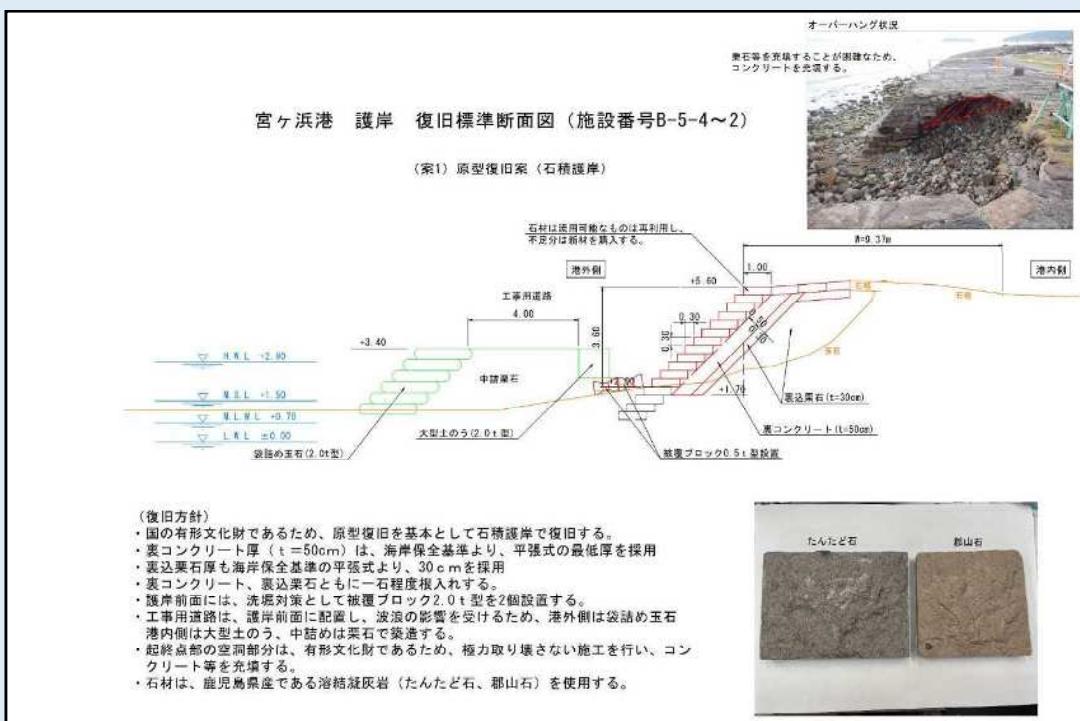
17

復旧方針

復旧工法比較検討表（石積護岸 被災延長L=10.0m）		
工法案	【案1】現状復旧案（石積護岸）	【案2】コンクリート平張復旧案
標準断面図		
復旧方針	<ul style="list-style-type: none"> 国の有形文化財であるため、現状復旧を基本として石積護岸で復旧する。 裏コンクリート厚（t = 50cm）は、海岸保全基準より、平張式の最低厚を採用 裏込栗石厚も海岸保全基準の平張式より、30 cm を採用 裏コンクリート、裏込栗石ともに一石程度積入れする。 護岸前面には、洗掘对策として被覆ブロック0.5t型を2箇設置する。 工事用道路は、護岸前面に配置し、波浪の影響を受けるため、港外側は袋詰め玉石 港内側は大型土のう、中詰めは栗石で築造する。 起終点部の空洞部分は、有形文化財であるため、極力取り壊さない施工を行い、コンクリート等を充填する。 石材は、鹿児島県産である溶結凝灰岩（たんたど石、郡山石）を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施工性、安全性を考慮し、コンクリート平張式で復旧する。 裏コンクリート厚（t = 50cm）は、海岸保全基準より、平張式の最低厚を採用 裏込栗石厚も海岸保全基準の平張式より、30 cm を採用 護岸前面には、洗掘对策として被覆ブロック0.5t型を2箇設置する。 工事用道路は、護岸前面に配置し、波浪の影響を受けるため、港外側は袋詰め玉石 港内側は大型土のう、中詰めは栗石で築造する。
景観性	<ul style="list-style-type: none"> 現状復旧であったため、被災前の景観を確保することができる。 有形文化財としての価値を維持することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート平張式で復旧するため、被災前の景観とは異なる。 有形文化財としての価値が損なわれる。
施工性	<ul style="list-style-type: none"> 石材搬入→裏コンクリート→裏込栗石→裏込め材を段階的に施工する必要がある。 石積みを施工するには、特殊な技術が必要である。 被災した石材を収集し、再設置するため、石材を選別する必要があるため、施工に時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 被災復旧（石積護岸）よりは、工種が少ないので、施工性はよい。 一般的な構造物であるため、特殊な技術を必要としない。 被災した石材は裏込め材として活用するため、石材の選別等を行う必要がなく、工期短縮が図れる。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 国の有形文化財であるため、原型復旧を基本として復旧する案であるため、工事費は割高となる。 	<ul style="list-style-type: none"> すべてコンクリートで復旧するため、工事費は低減できる。
文化庁の意見	<ul style="list-style-type: none"> 登録有形文化財であるため、現状復旧を基本として復旧することとする。 仮設計画は、石材が崩壊しないよう計画とする。 活用できる石材は再利用し不足分は新規購入も可とする。 但し、新規の石材は類似するものとし、色調は既存物と見誤るよう選別したものを利用する。 撤去復旧の際には、石材にナバリングし、図面や写真で現状位置を記録し、同一に復旧できるようすること 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財的価値を損なうため現状復旧すること。
総合評価	登録有形文化財であるため現状復旧とし、採用	現状復旧でないため不採用

18

復旧方針（採用断面）



19

石材回収図（埋塞前）



20

被災状況写真（埋塞後）



散乱していた石がなくなってる！



21

査定結果

無事、査定を乗り切りました！



県工事 4 災 4 号		令和4年港湾災害復旧工事	
港湾		鹿児島県	
設 計 基		工事概要	
災 害 発 生 年 月 日		令和4年9月17日～9月20日	
工 種 番 号		第4号	
港 湾 名		宮ヶ浜港	
施 行 位 置		指宿市 西方地内	
工 事 名		護岸 災害復旧工事	
工 事 費 用		中 決 実績 指	
内 未 成 金	50,406 千円	金	千円
内 転 属 金	金	金	千円
被 災 の 原 因 他	令和4年9月17日～9月20日 台風14号 最大瞬間風速 35.0m/sec 時 9月18日18時00分(枕崎気象観測所) 最大風速 20.8m/sec 時 9月18日18時20分(枕崎気象観測所) 被災原因：台風14号の波浪により、石積護岸が破損し、石積及び中詰材が流出した。 復旧計画の概要：登録有形文化財であるため、波出した石材のうち再使用可能なものは回収して石積みにより原形復旧する。		

22

施工状況（石材の回収・選別）

クレーンで1本1本吊り上げて回収しているよ



(石材の回収)



たいたり、目視で割れていないか確認しているよ



(石材の選別)



23

施工状況（石材の運搬）

たんたど採石場



出典：福村石材工業株式会社 HP



24

施工状況（石材の加工）



1つ1つ手作業でやってる



石材同士のかみ合わせとかがあるから、
現場で形を整えないといけないんだよ

20本くらいある段は4人で作業して
2日くらいかかるみたいだよ



25

施工状況（着工前）



26

施工状況（完成）



夏場の暑い中、丁寧な仕事をしてくださった、石工さんをはじめとする作業員の方々に感謝です



27

おわり



かごしま未来応援隊！

(愛称：KM0 「Kagoshima Mirai Ouentai」)